十二ヶ年以上　十三ヶ年未満　四百二日分
十三ヶ年以上　十四ヶ年未満　四百五十五日分
十四ヶ年以上　十五ヶ年未満　五百十一日分
十五ヶ年以上　十六ヶ年未満　五百六十日分
十六ヶ年以上　一ヶ年ヲ増ス毎ニ其ノ日数ヲ加算スルコト

二、第一ノ件

前項ノ場合ニ於テ一人ニ対シ支給スルコト

三、傷痍休業ニ関スル件

一ヶ月間第二ノ扶養ニ対シ有効期間ハ一年トスル事

四、療養ニ関スル件

不具廃疾ノ程度等合セ支給スル事

五、傷ニ関スル件

一ヶ月ニ対シ二回ノ内第一回ノ翌月ニ休ニ差支ナキヲ以テ事

但シ一ヶ月一回ノ内第一回ノ翌月ニ休ニ差支ナキヲ以テ事

一、公傷ニ関スル件

公傷ノ為メ療養開始ノ場合ハ会社指定ノ医師ニ治療ヲ受ケ其ノ事実ヲ証スル十九時ハ最寄ノ医師ニテ治療シ其ノ費用ハ会社ニ負担スルコト

二、左記ニ該当スル者ハ特ニ支給ノ件

大臣田、死亡、出生、出火類ハ日給倍額支給スルコト

通勤料ハ通勤証ト同ジク支給スル事

三、賞典金ニ関スル件

欠勤十日迄ハ減点ニ影響ナキコト

十日以上ニ五日ノ場合ハ賞典金額ヲ十点ト見做シ居ル点ヨリ五点トシ差引ク

五点減スルコト